

# 1 滋賀県の軍需工場

15年にわたる戦争

## 滋賀県の軍需工場

戦争には、ヒトやモノが必要となります。ヒトは兵士として、モノは戦争をするための飛行機・軍需物資・食糧・被服・薬などの兵隊、戦う兵士の食糧やモノや着るモノなど生活するために必要とするモノです。これらを「軍需物資」「軍需品」といいます。つくるところを「軍需工場」と呼びました。

戦争が激化につれて、多くの人が兵士として戦地に行きました。そのため、工場働く人が足りなくなりました。女性や子どもたちが軍需工場や農機などで働くことになりました。小学校には、6年生の上に高等科というのが増えましたが、昭和20年(1945年)4月、戦時高学料の子どもたちは1年程度短縮しないことと決まりました。これは、小学生が働くようにするためでした。こうして、戦争が終わるころには、子どもたちの多くは働かざるも、働く時間の方が多くなっていました。

◆戦時高学料が課せられた工場  
工場が稼働しつづけるには、兵隊や子どもたちの生活に必要な物資を供給する必要があります。兵隊や子どもたちの生活に必要な物資を供給するために、工場は稼働しつづける必要がありました。戦時高学料が課せられた工場は、兵隊や子どもたちの生活に必要な物資を供給するために、稼働しつづける必要がありました。

# 2 滋賀県の軍事施設

15年にわたる戦争

## 滋賀県の軍事施設

戦争中の滋賀県には、「軍需工場」だけでなく、兵士の訓練をする施設や、戦地へ向かう航空隊のための飛行機などの「軍事施設」もありました。

神前町(八日市の東近江市)には、大正11年(1922年)からは、陸軍の部隊が八日市飛行場を使うようになりました。飛行場では、訓練を受けたパイロットや解雇兵士による部隊が編成され、八日市から戦地へ向かいました。戦争末期には、地元の人を合わせて約1000人が飛行場や農機で働いていたとされています。

また、八日市には昭和19年(1944年)以降、大津海軍航空隊、滋賀陸軍航空隊、大津陸軍少年飛行隊など多くの軍事施設が設けられました。高島町では、広大な農地が軍需物資のために使われました。

さらに昭和20年(1945年)には、彦根市、東近江市、米原市に大規模な飛行場の整備が計画されました。彦根市に700人の規模(戦争中に日本軍からえられた兵士など)が収容されていた。飛行場は戦時中や戦後作業などの仕事をさせられていました。

◆中学生の飛行訓練  
戦争末期には、中学生も飛行訓練を受けました。彦根市や米原市に飛行訓練場が設けられ、中学生も飛行訓練を受けました。彦根市や米原市に飛行訓練場が設けられ、中学生も飛行訓練を受けました。

# 3 戦地へ向かう、送り出す

戦争と生活の激化

## 戦地へ向かう、送り出す

20歳になった男の子は、だれもが兵隊検査を受けるように準備がつけられていました。兵隊検査に合格すると、陣営に入らなさいという通知書が送られてきました。この通知書のことを「召集令状」といいます。

召集令状が来ると、準備は完了です。召集令状が来ると、準備は完了です。召集令状が来ると、準備は完了です。

◆召集令状が来ると  
召集令状が来ると、準備は完了です。召集令状が来ると、準備は完了です。召集令状が来ると、準備は完了です。

# 4 女性たちの戦争

戦争と生活の激化

## 女性たちの戦争 戦後の守り

戦争が激化するにつれて、多くの女性が兵士として戦地へ送られました。そのため戦地での生活に悩む女性たちも、戦地へ送られました。戦地での生活に悩む女性たちも、戦地へ送られました。

◆5人の子とも必死に生きた戦中、戦後  
戦中、戦後の生活は、女性たちにとって大変なものでした。戦中、戦後の生活は、女性たちにとって大変なものでした。

# 5 モノ不足の世の中へ

戦争と生活の激化

## モノ不足の世の中へ

戦争のため、軍需で使うものの生産が優先され、生活に必要な物資が不足するようになりました。生活に必要な物資や日用品を入手するために、軍需の人材に代わって政府が飛行機を作る部品(鉄板や鋼板)や配給される物資が奪われた通帳などが必要となりました。このような状況を「空襲警報」「配給制」といいます。戦争が激化につれて、米や食糧、衣類などが不足し、自由に買えない品物がたくさん出てきました。

◆代用品  
モノ不足の世の中へ、代用品が活用されました。モノ不足の世の中へ、代用品が活用されました。

# 6 はたらく子どもたち

子どもたちと戦争

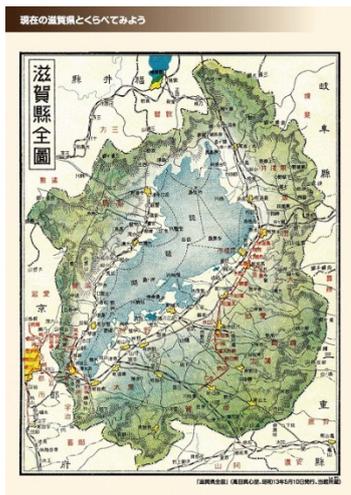
## はたらく子どもたち

戦争が激化すると、多くの子どもが戦争に関与することになりました。子どもたちは、戦争に関与することになりました。子どもたちは、戦争に関与することになりました。

◆はたらく子どもたち  
戦争が激化すると、多くの子どもが戦争に関与することになりました。子どもたちは、戦争に関与することになりました。



13 滋賀県全図



14 滋賀の人々の戦場



15 年表「日本のできごと 滋賀のできごと」1



16 年表「日本のできごと 滋賀のできごと」2

